

フィールド業務をスムーズに! 修理・保守・メンテナンス業務をサポートする フィールド業務支援システム「eSmileFeSS」を発売

当社は、修理・保守・メンテナンス業務をサポートするフィールド業務支援システム「eSmileFeSS (イースマイルフェス)」を3月30日より発売しました。修理やメンテナンスなどのフィールド業務サービスにおいては、フィールドエンジニアのスケジュール調整から手配を行うディスパッチシステムがその中核を担います。これまでのディスパッチシステムは大規模向けが主流でしたが、当社では要員100~300人規模のニーズに対応し、コストパフォーマンスの高いパッケージシステム「eSmileFeSS」を開発しました。

お求めやすい価格で、作業計画から現場の進捗状況までをリアルタイムに把握できます。



生きているミュージアム「NIFREL (ニフレル)」への システム導入事例ムービーを公開!

当社は、「NIFREL」へのシステム導入事例ムービーを公開しました。NIFRELは、水族館、動物園、美術館のジャンルを超えて、まるでアートを楽しむかのように、生きものや自然の魅力を直感的により身近に楽しめる工夫を凝らした、生きているミュージアムです。NIFRELでは施設運営を円滑に行うため、パナソニックISがご提案したチケットシステム・POSシステムをご活用いただいています。このたび公開したムービーでは、その活用方法と効果についてお客さまに伺いました。是非ご覧ください。

●スマートフォンなどでQRコードを読み取ると、動画がご覧いただけます。



イベント・セミナー予定

東京地区

第7回 教育ITソリューションEXPO

日時 2016年5月18日(水)~20日(金)
10:00~18:00

場所 東京ビッグサイト
「ネットブートシステム」を展出します。

大阪地区

コールセンター/CRM デモ&コンファレンス 2016 in 大阪

日時 2016年5月25日(水)~26日(木)
10:00~17:30

場所 マイドームおおさか
「eSmileCall」を展出します。
詳しくは
<http://service.is-c.panasonic.co.jp/event/>
をご覧ください!

あいえず☆ うちの BOSS

その25



デジタルIoTソリューションセンター
クラウドソリューション開発部
チームリーダー
西内義信

ボスから ひとこと

パナソニックではスマートテレビや家電リモート操作など、機器をネットにつないで便利に使うIoT (Internet of Things) サービスを数多く手掛けています。今回は、そんなIoTサービスの「緑の下の方持ち」を取材。クラウドソリューション開発部チームリーダーの西内義信を、インドネシア出身のチャンドラ・ボビーが紹介してくれました。

「当部署が担当するのは、機器とアプリをつなぐ上での土台となるクラウド基盤です。運用リーダーの西内さんは「結果だけ教えてくれ」というのではなく、段取りや経過から丁寧に見てくださる方。西内さんの取りまとめによって各担当者の役割が明確になるので、とても運用しやすいですね。」

この基盤ができたのは2014年2月のこと。



デジタルIoTソリューションセンター
クラウドソリューション開発部
チャンドラ・ボビー

安定稼働に向けて独自の改善を重ね、2015年度にはサーバ稼働率100%を達成。「現場からトップまで関係者全員が責任感を持ち、たとえ担当外でもコミュニケーションを怠らないこと」がこの数値につながったといいます。

「現在はBtoB分野にも採用が進んでいます。1から携わってきた身として、この基盤は自分の『畑』のような存在。今後も色々なソリューションを芽吹かせたいですね。」

周りへの気配りができ、誰からも愛されるいわゆる「いじられキャラ」ですが、責任感が強く仕事をしっかりとこなしてくれる頼りになる存在です。担当してもらっているクラウド基盤のシステム運用に問題が出ると、多くのIoTサービスが止まってしまうほど重要な責任を担っています。チームの力を合わせて共に頑張りましょう。

編集
後記

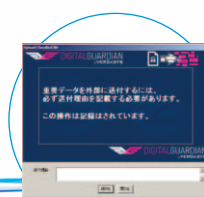
セキュリティ対策はしているけれど、次々に現れる新たな脅威に対応できるのか? という疑問をお持ちの方も多くいらっしゃると思います。「一度入れたら絶対大丈夫」という対策は残念ながら、守るべきデータに優先順位を付けることで、実効性の高いセキュリティ対策を図ることができます。是非一度ご相談ください。

発行元
パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
経営企画部 広報・マーケティングチーム
〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006番地 パナソニック(株)本社内
TEL 06-6908-0245 FAX 06-6906-4717 <http://is-c.panasonic.co.jp/>
※本紙掲載記事の無断転載・複製を禁じます。
※本紙に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

IS CLOSE UP

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

2016.04
vol.48



Close Up Now

データを守りながらビジネスを加速!
「エンドポイント・セキュリティ」で実現する
フレキシブルなデータ保護



TOPICS

フィールド業務をスムーズに!
修理・保守・メンテナンス業務をサポートする
フィールド業務支援システム「eSmileFeSS」を発売

生きているミュージアム「NIFREL (ニフレル)」への
システム導入事例ムービーを公開!



あいえず☆うちのBOSS

デジタルIoTソリューションセンター
クラウドソリューション開発部
チームリーダー 西内義信

データを守りながらビジネスを加速!

メール誤送信のうっかりミスや不正アクセス、標的型攻撃…情報漏えいのリスクは企業の至るところに存在します。もはやセキュリティ対策は立派な経営課題となっていますが、「業務を止めずに」効果的な対策を打つのは難しいもの。これを可能にするのが、今回ご紹介するエンドポイント・セキュリティ「Digital Guardian」です!

エンドポイント(末端)を守る

セキュリティ対策はまさにあらゆる企業が直面している課題ですが、すべての情報資産に対してやみくもに取り組んでもきりがなく、効果的とはいえません。

外出先や自宅など社外ネットワークを介して業務を行うことが増え、従来の社内ネットワークと社外ネットワークのゲートウェイ(境界)でセキュリティ対策を行うだけでは対応しきれなくなっている昨今、有効かつ最後の手段と言われているのがエンドポイント(末端)・セキュリティです。エンドポイント・セキュリティとは、ネットワークの末端に接続されたサーバ、PC、スマートフォンなどをサイバー攻撃から守るためのセキュリティ対策のこと。具体的には各デバイスに対し、不正アプリケーションの利用や外部メディアへのデータ書き出しなどの制限・禁止を行い操作ログを収集します。ビジネスシーンに応じて多様なデバイスが利用されている環境においては特に効果を発揮します。

業務を止めずに情報漏えい防止!

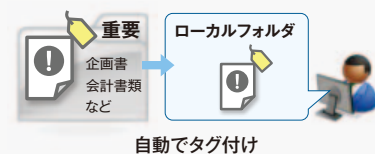
情報漏えい対策として、やみくもに操作を禁止しては「業務に必要なデータなのにアクセスできない」など、事業のスピードを遅らせることにもつながりかねません。適切なデータ保護のポイントは、「情報漏えい時に大きな影響を及ぼ

すのはどのデータか?」を見極めること。データ単位に重み付けをし、それに応じたルールで統制を行うことが重要です。パナソニックISがご提案する「Digital Guardian」は、データの重要度に応じて対応方法を柔軟に設定できるエンドポイント・セキュリティの決定版です。Digital Guardianには、設定した条件にもとづいて重要データに自動的にタグを付ける機能があります。「例えば“重要”

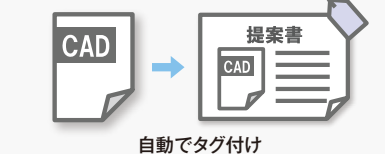
フォルダにファイルを保存する時はタグ“A”を付ける」「CADファイルを保存する時はタグ“B”を付ける」といった具合です。タグの種類別に、例えば「タグ“A”の付いたデータを社外アドレスに送る場合は理由入力を必須とする」「タグ“B”の付いたデータは社外ネットワークからは開けないようにする」など、柔軟な操作制御ができるため、不要に業務を妨げず、重要データの漏えいを防ぐことができます。

“タグ付け”で柔軟にデータ制御を行います

例1: “重要”フォルダ内のファイルをローカルフォルダにコピーする時はタグ“A”を付ける



例2: CADファイルの一部をコピーして別のファイルに貼り付ける時はタグ“B”を付ける



ここも Point!

ファイルにつけられたタグは別の場所にコピーされても継承され、そのタグに沿った操作制御が行われます。

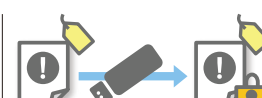
例えばこんな制御ができます。



タグ“A”が付いたデータを印刷する場合は理由入力を必須とする



タグ“B”が付いたデータの社外送付を禁止する(添付時に検知)



タグ“A”が付いたデータをUSBメモリに保存する時は自動暗号化する



お客さまが語る! 導入ストーリー

国内外29社のグループ企業を擁し、造船、海運、環境・エネルギーなど多岐に渡る事業を手掛ける常石グループ。ワールドワイドな事業環境でPC・スマートフォンを盛んに活用されているため、外部ネットワークとの接点が多く、かねてから情報漏えいを防ぐためのセキュリティ統制のあり方が課題となっていました。ただし、一番難しいのがシステム導入にあたっての方針決定。利便性を無視して情報保護に注力するのは簡単ですが、肝心の事業を止めることになってはいけません。そこで常石グループでは、導入方針と選定要件を以下のように定めたといいました。

■ システムの導入方針

不正を行っていない大部分の従業員の作業効率を落とさない

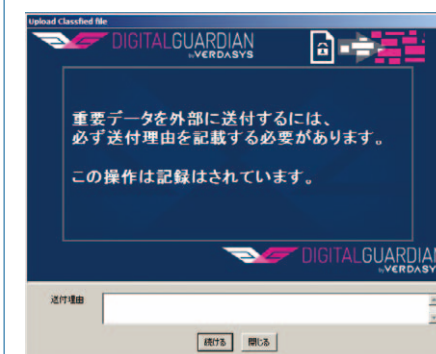
■ システムの選定要件

- ・機密以外の情報は従来どおり扱えること
- ・オフラインでも動作すること
- ・機密レベルに応じた対応が取れること
- ・機密情報かどうかは各部門で定義できること
- ・低コストであること

「“可” “不可” 以外の対応方法を設定できるのは Digital Guardian だけでした」

— ツネイシホールディングス株式会社 CIO 和田 義幸 氏

この要件に合致したのが、当社がご提案した Digital Guardian でした。Digital Guardian は社内ネットワーク下だけでなく、社外やオフライン環境下でも情報流出防止を可能にします。さらに、これは Digital Guardian の最たる特長ともいえる点ですが、「アクセス可」「アクセス不可」の2択ではなく「理由を書けばアクセス可」など段階的な対応方法を取れることが大きな魅力です。常石グループでは Digital Guardian 導入にあたり、社内規定を見直し「機密」「社外秘」「取扱注意」



「理由入力ダイアログボックス」のイメージ (提供元: デジタルガーディアン株式会社)

などのレベル分けを行いました。和田 CIO は「重要度に応じた機密情報の制御を部門ごとに運用できるようにすることが必須」と語ります。また、Digital Guardian でファイル操作を監視していることを社内に周知し、軽い気持ちでの持ち出しを防止することもポイントだそうです。現在はまだ特定部門での導入の段階ですが、Digital Guardian がバックグラウンドで動作していても他のシステムのパフォーマンスが低下することはほぼなく、従業員はこれまでどおりストレスなく作業できているとのこと。今後の課題は「何が機密情報なのか?」を各部門でいかに定義付けて全社展開できるかです。「事業を止めないセキュリティ統制」の第一歩を踏み出された常石グループ。今後も社内展開を進め、さらにご活用いただくことを期待しています。

ツネイシホールディングス株式会社
CIO
CSV本部 情報戦略部長
和田 義幸 氏



和田 CIO が登壇! 「情報漏えい対策セミナー」

2016年7月15日(金)に、ツネイシホールディングス 和田 CIO にご登壇いただき「情報漏えい対策セミナー」を開催します。是非ご参加ください。

日時: 2016年7月15日(金) 14:30~17:00
場所: パナソニックIS 東京オフィス セミナールーム

詳しくは <http://service.is-c.panasonic.co.jp/event/> をご覧ください!

「エンドポイント・セキュリティ」で 実現するフレキシブルなデータ保護

